



特別賞(住みこなし)

タイトル

せんり ちゃ ま
千里のお茶の間

タイプ

持家共同建

構造

RC造

講評

人は加齢と共に体の調子や嗜好が変わっていく。一室だけのリフォームであるにもかかわらず、住まい手の要望を効果的に具現化することにより、住戸全体の雰囲気を変えることに成功している。

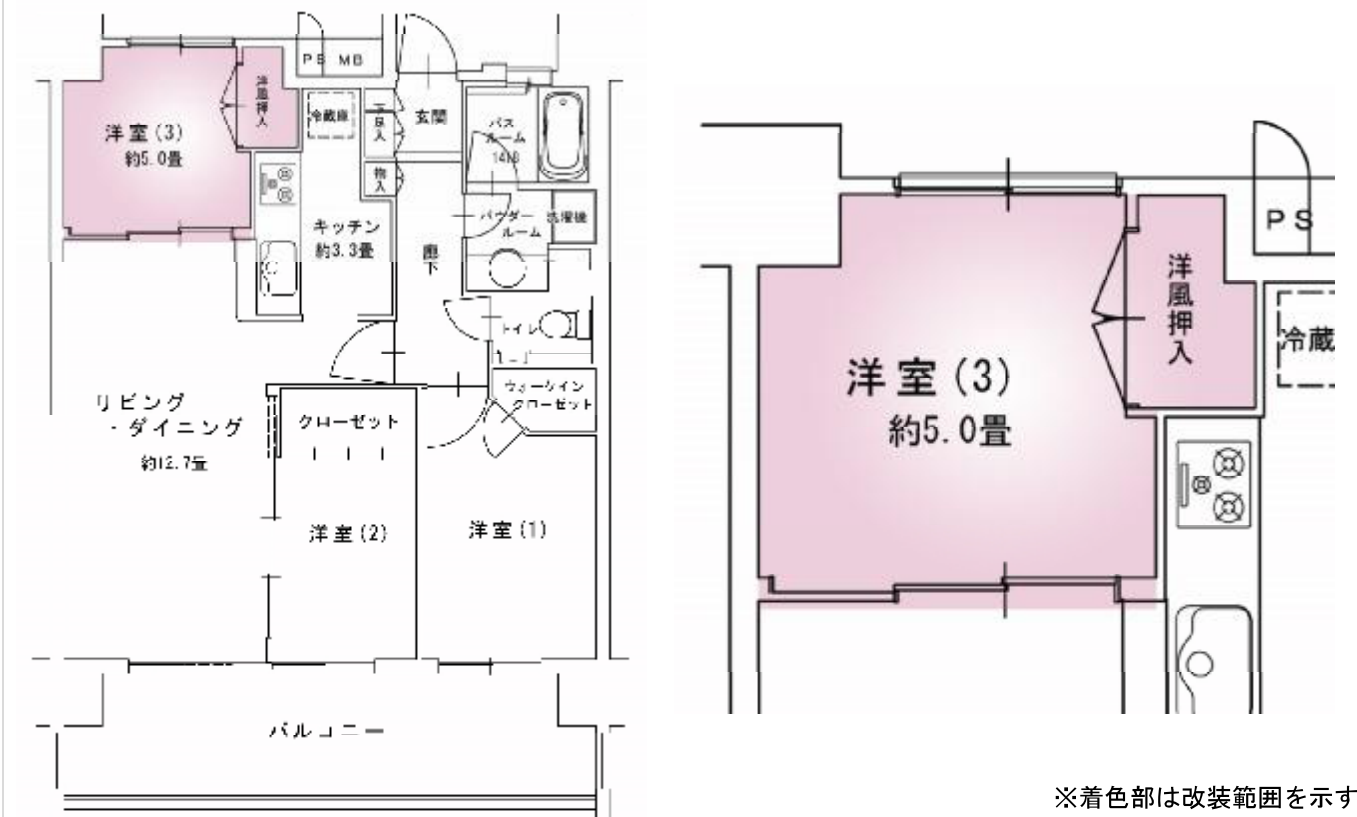
リフォーム・リノベーション前後の写真



<リフォーム前>

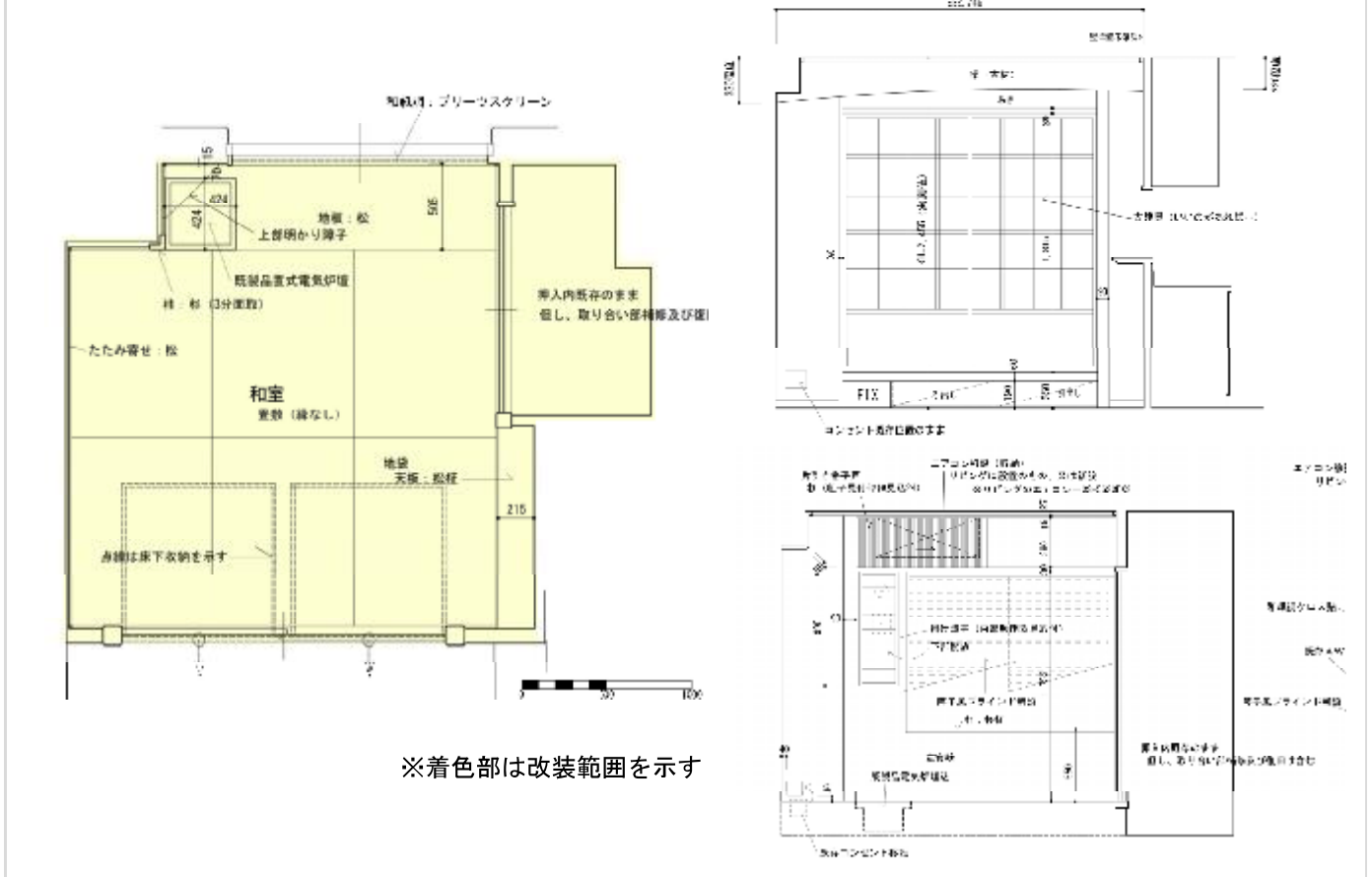
<リフォーム後>

リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



※着色部は改装範囲を示す

リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面等）



※着色部は改装範囲を示す

提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

○和モダンともいえる趣味の良い家具が配置されたリビングルームに違和感なく和室を埋込むため、古材の梁と建具を採用した。幸いにして、材料の面でもコストの面でも大変満足いく梁と障子に巡り合うことができた。
 ○乾燥が激しいという室内環境が少しでも改善できればと、その調湿効果を期待して土壁を採用。調湿効果の程は今後の追跡調査によるが、木や紙との相乗効果による質感の柔らかさや土壁による引き締まった空気感は、この部屋のみならずリビング全体の雰囲気も一変させた。
 ○客用として無い訳には行かないがほとんど使わないというエアコンは格子で隠した。また、その冷媒管と通気口はダウンライトの痛いぐらいの光を避けるために設置した明り障子で隠した。読み書きなどの作業をしない時はこの明かりだけで十分だし、和紙を通したやさしい光がよりやさしい。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

○腰痛持ちでベッドで寝ることができないパートナーが、フローリングではなく畳の上に布団を敷く環境を作りたい。
 ○昔少し齧ったお茶を自分たちの楽しみ方で楽しみたい。でも、雰囲気だけでいいので本格的なものは必要ない。
 ○床は少し上げて、床下に（使いやすい範囲だけでいいので）収納が欲しい。

居住者（住まい手）の感想

殺風景なマンションの一室が心落ち着く優美な和室に変わりました。
 想像以上の出来に大満足です。

データ

○所在地	豊中市新千里東町	○築後年数	3年	○工事費	300万円	○工事期間	45日間	○設計会社	アーキスタジオ 哲 一級建築士事務所	／ 担当者	木村正宏
○用途地域	第1種中高層住居専用地域	○敷地面積	- m ²	○建築面積	- m ²	○リフォーム部分面積	9.8 m ²	○施工会社	(有)comfort life	／ 担当者	奥田拓司
○居住者構成	総人数 2人 / うち15歳未満 0人 / うち65歳以上 0人 / ペット なし	○性能向上の特性		○耐震性能		○高齢者等への配慮（バリアフリー）		○省エネルギー対策			
	○単独	○夫婦のみ	○夫婦+子	○親+夫婦+子（三世代）	○ひとり親+子	○防犯性能	○維持管理対策	<input checked="" type="checkbox"/> 室内空気環境	○その他（快適性）		
	○その他の親族（親族関係者のみ）		○親族以外（シェア居住の場合など）		<input checked="" type="checkbox"/> その他						

タイトル 千里のお茶の間